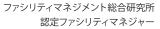
# 調査研究部会講演●品質評価手法研究部会

# 避難所の FM品質を考える

### 部会長野瀬 かおり

のせかおり





当部会では、FM 品質には7つの軸があると考えている(図表1)。これらの軸は、建物・設備、サービス、まち、インフラなど、さまざまなファシリティを対象とした品質を考える際に利用できる。そして、その中心にある「安全性・信頼性」は、ファシリティの品質評価において、最も重要で、なくてはならない視点である。

近年、自然災害が激甚化し、全国各地で多くの自治体が被災し、多数の人々が住まいを追われ、一定期間の避難所生活を余儀なくされている。日本は災害大国であるにもかかわらず、災害が起こるたびに、過去幾度も設置された避難所の生活環境が問題視され、海外と比較して「日本は遅れている」と指摘されている。過去の避難所設置事例をFM品質から見ると、衛生管理、温度調整、スペースの確保、プライバシー配慮、防犯対策など、ファシリティマネジャーとして看過できない問題が多い。今後さらに増加すると予想される災害に備え、安全に安心して避難できる「避難所」の整備が求められる。

そこで当部会では、避難所というファシリティの 品質について検討することにした。大切なことは、 気候・風土・文化・生活習慣に適した解決策を講じ ることである。海外のやり方をそのまま取り込むの ではなく、それらを参考にしながら、日本に適した 方法を取り入れていきたい。

以上のような考えから、2024年は「地域防災計 画」「避難所運営マニュアル」(図表2)の調査を行 うとともに、国内の災害時における避難所の実態 や、台湾やイタリアなどの海外事例を集めた。台湾 の避難所では、支援グループと行政が連携して運営 を行っている。日本と同じように体育館を利用する ことがあるが、簡易間仕切りが設置され、プライバ シーが確保されている。2024年4月3日に起こっ た台湾東部沖を震源とする地震では、震度6強を観 測した花蓮県で、発災から3時間後には避難所での 被災者の受け入れが始まり、4時間後にはほとんど の設備が整っていた。イタリアでは、避難所に必要 なテントやトイレなどの資材を、国が主導して全国 の拠点に備蓄し、すぐに持ち出せる状態で保管して いる。また避難所では訓練を受けたシェフが食事を 提供する体制が整えられていることがわかった。

当部会では例年1泊2日の合宿を開催している。 2024年は東日本大震災で被災した石巻・女川を有志で訪れ現地の方から「市役所で1カ月避難生活を送った」という体験談を聞くことができた。また、「訓練が行事となってはだめだ」「災害から身を守った事例を知ることも大切」という教訓を学んだ。合宿報告は、JFMAホームページの調査研究部会のページに掲載しているので、ぜひご一読いただきたい。 ◀



図表1 当部会が考えるFM品質7つの軸

## 4. 「避難所運営ガイドライン」 内閣府防災担当平成28年4月

### はじめに〜避難者の健康を維持するために 「避難所の質の向上」を目指す

阪神・淡君・震災では、約31万人が短額所生まをした。東日よ 大震災では、答主、宮城、福園の3県を約41万人、全国合計で は約47万人が遊題所生活をした。阪神・淡海と震災とは適額所 閉鎖までに6万月を愛い、東日本大震災とは、遊館所閉鎖まで着 手環で7万月、2城駅で9万月を受いた。原発事故で無過端双栗 旬の任民が確難した埼玉県加須市の遊鏡所の閉鎖は2年9万月後 だった。

ひとたび交流が配こると、雅麗所は「住木いを失い、地域での生活を 失った遊災者の振り所しなか、また「任宅で不自由な着り」を支える 災者の支援機能点となる。しかり、中日 不大事源では、避原所におい る「生活の値」には課題が多く、水、食料、トイル等は不十分で、産 原は限定的であり、狭い空間での生活によって、多くの避難者が休測 参順で記した際、り合い自位生活であった。

# 実施すべき対応(19 の項目)業務の チェックリスト

1	**	B	Ĭ	E	
1181	THE RESIDENCE OF A CHARGE OF SHAPE	dt.	art.	The second	
101	NAME OF THE PROPERTY OF	0	0	POST (M POSSO)	DESTRUCTED TO
942	ER REPLANTAGE THE	0	0	PERSON   1	EXH-1034
1-3	二十二年の日代があるようであれば、本 京・新田田寺・田川市が日本人の日本会 発表でも	0	ø	BORGE	BORRES
4.4	ZALICONNI-TORONICKA TA	0	0	PART D	
hei	appropriate Las				
fit.	SHORMAN TO THE OWNER.	0	П	and the last	A .

図表2 内閣府防災担当がまとめた「避難所運営ガイドライン」には、実施すべき対応業務のチェックリストが掲載されている